

令和2年度
事業報告書

社会福祉法人
名張市社会福祉協議会

目 次

I	【 法人本部拠点 】	
ア.	法人運営事業	1
	1. 法人経営の基盤強化と持続可能な財政運営	
	2. 人材の確保と職員育成	
	3. 働きがいのある、働きやすい職場づくり	
イ.	地域福祉増進事業	10
	1. 地域福祉活動計画の推進	
	2. くらし応援ネットワーク事業	
	3. 生活支援体制整備事業	
	4. ボランティアセンター事業	
	5. 福祉まちづくりセンター事業	
	6. 福祉団体等当事者活動支援	
ウ.	なばり暮らしあんしんセンター	22
	1. 福祉サービス利用援助事業	
	2. 成年後見事業	
	3. 生活困窮者自立支援事業	
	4. 生活福祉資金等貸付事業	
II	【 在宅福祉サービス拠点 】	
	【 老人福祉センター「ふれあい」拠点 】	31
	1. 「中重度ケア+自立支援介護・重度化防止ケア」の推進	
	2. 健全経営体制の基盤整備	
	3. 業務効率の向上と働きやすい環境づくり	
III	【 昭和保育園拠点 】	41
	1. 事業の概要	
	2. 適正な運営体制確立	
	3. 特別保育事業	
	4. マイ保育ステーションの取組み	
IV	【 総合福祉センターふれあい拠点 】	46

※ 【拠点】は、会計の区分における拠点区分に該当します。

I 【法人本部拠点】（総務課・地域福祉課）

ア. 法人運営事業

1. 法人経営の基盤強化と持続可能な財政運営

1. 経営組織の適正運営

①理事会の適正実施

事業計画・予算、事業報告・決算についての承認、規程の一部改正、組織構成会員の入会及び評議員候補者の推薦を行いました。

開催日	議案及び審議事項
第1回 6月4日(木)	1) 副会長の選任について 2) 令和元年度 事業報告及び附属明細書の承認について 3) 令和元年度 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認について 4) 経理規程の一部改正について 5) 積立金管理規程の一部改正について 6) 令和元年度 地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定について 7) 令和2年度 地域福祉活動助成事業にかかる審査について 8) 組織構成会員の入会について 9) 評議員候補者の推薦について 10) 定時評議員会の日時及び場所、目的である事項の決定について
第2回 12月11日(金)	1) 積立金管理規程の一部改正について 2) 補正予算（第1号）について 3) 第2回評議員会の招集について
第3回 3月16日(火)	1) 補正予算（第2号）について 2) 給与規程の一部改正について 3) 令和3年度 事業計画について 4) 令和3年度 予算について 5) 組織構成会員の入会について 6) 評議員候補者の推薦について 7) 第3回評議員会の招集について

②評議員会の適正実施

理事会で認定を得た事業計画・予算、事業報告・決算等重要事項の議決の他、役員の選任について承認を得ました。

開催日	議案
第1回 6月19日(金)	1) 令和元年度 事業報告の承認について 2) 令和元年度 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について 3) 役員の選任について
第2回 12月18日(金)	1) 補正予算（第1号）について

第3回 3月23日(火)	1) 補正予算（第2号）について 2) 令和3年度 事業計画について 3) 令和3年度 予算について 4) 役員の選任について
-----------------	--

③評議員選任・解任委員会の開催

評議員選出母体における異動や役員改選に伴う評議員の交代にあたり、候補者から後任の評議員を選任しました。

開催日	議案
第1回 6月11日(木)	・評議員の選任について

④監事監査の適正実施

事業運営と財務管理に係る監事監査を年2回実施しました。

実施日	議題
決算監査 5月15日(金)	1) 令和元年度 事業報告について 2) 令和元年度 決算報告について 3) 役員会等運営及び財務会計に関する事務処理に係るチェックについて
中間監査 11月26日(水)	1) 令和2年度上半期の事業報告について 2) 令和2年度上半期の決算報告について 3) 理事等の出席状況について 4) 役員会等運営及び財務会計に関する事務処理に係るチェックについて

⑤外部監査

実施期間	監査名称	対象事業等	監査人
10月～2月 ※書面	財政援助団体等監査	地域福祉増進事業	名張市監査委員
3月25日(水)	社会福祉法人指導監査	法人運営・会計	名張市

⑥組織構成会員種別会の開催

第3・4・6種の種別会を開催し、役員等候補者の選出及び意見交換を行いました。

種別	会員数・出席団体数（出席者数）	開催日
【第3種】	11団体中 5団体（5名）	2月24日(水)
【第4種】	13団体中 9団体（12名）	2月20日(土)
【第6種】	23団体中 6団体（6名）	

2. 内部管理体制の構築

法人の健全な経営基盤の確立、業務の円滑な運営を図るため、法人本部会議を年21回、経営会議を年23回、運営連絡会議を7回開催し、法人の経営・運営に係る協議、検討を進めました。

(法人本部会議)

協議内容	
- 本部会議での協議事項と当面の協議テーマについて - 職員アンケートの取り扱いについて - 令和2年度 法人イベントについて - 新型コロナウイルス感染症に係る対応について	- 令和3年度の法人体制について - 新型コロナウイルス感染症本部会議協議事項について - 経営会議協議事項について

(経営会議)

協議内容	
- 当初・補正予算について - 令和2年度 補助金・委託金の返還について - 事業計画・事業報告について - 決算監査・中間監査について - 理事会及び評議員会について - 善意銀行運営委員会について - 組織構成会員 種別会の開催について - 令和3年度 組織体制について - 新型コロナウイルス感染症に係る対応について - 在宅勤務について - 情報セキュリティ対策について - zoom の活用について	- 名張市社会福祉大会について - 継続雇用（非正規）の雇用形態について - ストレスチェック結果について - 最低賃金引き上げに伴う取り扱いについて - 法人諸規程等の改正について - 職員採用試験について - 令和2年度12月賞与・令和3年1月定期昇給について - 事務局経営企画専門員について - 職員アンケートの取組みについて - 休職職員への対応について - ハラスメントの事実認定について

(運営連絡会議)

協議内容	
- 働き方改革に伴う取組みについて - 最低賃金について - 年次有給休暇取得状況について - 在宅勤務に関する内規（案）について - Web 会議に伴う取り扱いについて - zoom の活用について - TERA-HDD の利用について - 会計処理について	- 消防訓練等の実施について - 名張市社会福祉協議会における押印の取り扱いについて - 令和3年度 事業計画説明会の開催について - 法人諸規程等の改正について - 事務局経営企画専門員について

3. 財務規律強化と透明性の向上

①適正な財政運営

顧問税理士の指導のもと、関係規程に則した適切な税務及び財務管理を行いました。

また、積立金管理規程に則した適切な資産管理の一環として、退職金規程に基づく支給準備にあたる退職給付準備積立資産の積立を行いました。

②効率的かつ適正な予算執行、経費削減への取組み

令和3年1月より会計処理手順を改正し、2回にわたり職員への説明会を実施し、効率的な経理事務の執行に努めました。

③施設・財産管理

老朽化した施設を維持管理するため、改修工事を行いました。

ア. 昭和保育園

園児用トイレ便器・床改修工事、給食室及び保育施設空調設備改修工事 他

イ. 総合福祉センターふれあい

館内トイレ便座及び便器改修工事、貯湯タンク給油2次ポンプ取替修繕 他

ウ. 通所介護・介護予防通所介護（デイサービス）事業所

トイレ便座交換工事・流し台排水パイプ交換工事・トイレ小便器修理工事 他

エ. 老人福祉センター「ふれあい」

ろ過機操作回路修繕・脱衣室手洗器排水管修繕工事・GHP室内機修繕工事 他

④透明性の向上

計算書類等を社協だより「ほほえみ」やホームページに掲載し、積極的に情報を公開しました。

4. リスクマネジメント体制の確立

リスクマネジメントに関する取組み指針に基づきリスクマネジャー連絡会議を開催し、ヒヤリ・ハット事例の詳細な把握、検討を行い、適切なリスク管理に取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染症に関する感染の予防・拡大防止の取組みを検討・協議するため、リスクマネジメント委員会を開催しました。

（リスクマネジャー連絡会議）

開催日	議 案
第1回 7月17日(金)	1) ヒヤリ・ハット及び事故報告 令和元年度分

（リスクマネジメント委員会）

開催日	議 案
第1回 4月22日(水)	1) 前回（3月25日）以降の法人全体の取組み確認 2) 各所属の取組み内容の確認について 3) 職員管理にかかる事項について ・ 予防・感染拡大防止のための職員行動指針について ・ ハイリスクをもつ職員の把握と対応について ・ 小学校等の休業に伴う職員の休暇に伴う対応について ・ 職員又はその親族及び利用者に疑いがある時の伊賀保健所への報告について ・ 新型コロナウイルス感染症対応状況チェックリストについて
第2回 5月20日(水)	1) 前回（4月22日）以降の法人全体の取組み確認 2) 各所属の取組み内容の確認について 3) 職員管理にかかる事項について ・ 職員の休暇の取り扱い事項について
第3回 6月17日(水)	1) 前回（5月20日）以降の法人全体の取組み確認 2) 新型コロナウイルス感染症に係る対応について ・ 各部署における在宅勤務に関する確認事項について ・ 職員の休暇の取り扱い事項について ・ 新型コロナウイルス感染症に係る相談記録について ・ 感染防止対策ガイドラインについて

第 4 回 7 月 29 日(水)	1) 前回（6 月 17 日）以降の法人全体の取組み確認 2) 緊急時における法人全体の応援体制にかかる協議 ・ 職員の就業制限の取り扱いについて ・ 新型コロナウイルス感染症に係る協議体の検討について
----------------------	---

5. 新型コロナウイルス感染症の予防・感染拡大防止の取組み

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に備えた対策を講ずるとともに、本会の職員及び利用者等から感染者等が発生した際に対応するため、新型コロナウイルス感染症対策本部等を設置し、その取組みを検討・協議しました。

（新型コロナウイルス感染症対策委員会）

開催日	議 案
第 1 回 8 月 19 日(水)	1) 新型コロナウイルス感染症予防・感染拡大防止に関する就業制限に係る内規について 2) 感染防止対策ガイドライン（案）について
第 2 回 9 月 16 日(水)	1) 新型コロナウイルス感染症予防・感染拡大防止に関する就業制限に係る内規（改正案）について 2) 衛生・防護用品備蓄状況調べについて 3) 各部署における相談事案の情報交換について
第 3 回 10 月 21 日(水)	1) 就業制限に係る内規の運用について 2) 感染拡大防止ガイドラインについて 3) 衛生・防護用品備蓄状況について
第 4 回 10 月 28 日(水)	1) 総務課職員の家族の体調不良（発熱）に伴う情報共有について
第 5 回 11 月 18 日(水)	1) 就業制限に係る内規について 2) 内規運用に関する職員への説明について 3) 新型コロナウイルス感染症に係る職員基本情報シートについて
第 6 回 12 月 16 日(水)	1) 職員が新型コロナウイルスに感染した際の対応手順(案)について 2) 年末年始における職員周知について
第 7 回 1 月 20 日(水)	1) 新型コロナウイルス感染症の予防・感染拡大防止について 2) 新型コロナウイルス感染症に職員が感染した場合の個人情報保護の視点による市民からの問い合わせの Q&A 3) 新型コロナウイルスの感染を予防する消毒方法について 4) 緊急時における備蓄消耗品の配備について
第 8 回 2 月 17 日(水)	1) 新型コロナウイルス感染症対策に係る職員への慰労について 2) 緊急時における備蓄消耗品の配備について 3) 新型コロナウイルスの感染を予防する消毒方法について 4) PCR 検査唾液採取用キットの購入について
第 9 回 3 月 17 日(水)	1) 新型コロナウイルス感染拡大防止に係る職員の対応について 2) 緊急時における消毒備蓄備品について ・ 新型コロナウイルス感染症関連消毒備蓄消耗品保管場所について ・ 新型コロナウイルス感染症関係備蓄消耗品備蓄状況について 3) 新型コロナウイルス感染症対策に係る職員への慰労について

(新型コロナウイルス感染症対策本部会議)

開催日	議 案
第 1 回 8 月 12 日(水)	1) 就業制限に係る内規について 2) 感染防止対策ガイドライン (案) について
第 2 回 9 月 9 日(水)	1) 新型コロナウイルス感染症に関する就業制限に係る内規について 2) 在宅勤務に関する内規 (案) について
第 3 回 9 月 25 日(金)	1) 就業制限に係る内規の確認事項について 2) 在宅勤務に関する内規 (案) について 3) 衛生・防護用品備蓄状況について
第 4 回 10 月 16 日(金)	1) 就業制限に係る内規の運用について 2) 感染拡大防止ガイドラインについて 3) 衛生・防護用品備蓄状況について
第 5 回 11 月 6 日(金)	1) 就業制限に係る内規に関する職員への説明について 2) PCR 検査の受検に伴う取り扱いについて
第 6 回 11 月 12 日(木)	1) 就業制限に係る内規について 2) 内規運用に関する職員への説明について 3) 新型コロナウイルス感染症に係る職員基本情報シートについて 4) 法人内会議の Web 会議について
第 7 回 12 月 15 日(火)	1) 職員が新型コロナウイルスに感染した際の対応手順(案)について 2) 年末年始における職員周知について 3) 緊急時の連絡体制について
第 8 回 1 月 13 日(水)	1) 新型コロナウイルス感染症の予防・感染拡大防止について 2) 新型コロナウイルス感染症に職員が感染した場合の個人情報保護の視点による市民からの問い合わせの Q&A 3) 新型コロナウイルスの感染を予防する消毒方法について
第 9 回 1 月 27 日(水)	1) 当会で新型コロナウイルス感染者が発生した際の職員等への PCR 検査の受検について ・伊賀保健所への確認 2) 緊急時における備蓄消耗品の配備について ・PCR 検査の郵送受検 ・新型コロナウイルス感染症対策に係る職員への慰労金等の支給について
第 10 回 2 月 10 日(水)	1) 新型コロナウイルス感染症対策に係る職員への慰労について 2) 緊急時における備蓄備品の集約及び調達状況について 3) 三重県新型コロナウイルス感染症「緊急警戒宣言」について 4) PCR 検査唾液採取用キットの購入について
第 11 回 3 月 10 日(水)	1) 総合福祉センター・老人福祉センター利用者への周知について 2) 緊急時における消毒備蓄備品について ・新型コロナウイルス感染症関連消毒備蓄消耗品保管場所について ・新型コロナウイルス感染症関係備蓄消耗品備蓄状況について

6. 福祉啓発・広報活動

広報作業部会を中心として、社協が行う事業やさまざまな活動状況を紹介するとともに、地域福祉やボランティア活動、各種募金、相談業務の案内等積極的な情報発信に努めました。

①名張市社会福祉大会の開催と福祉功労者の顕彰

第50回名張市社会福祉大会を10月31日(土)、名張市武道交流館いきいきにおいて開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染予防に努め、福祉功労者の顕彰のみを行いました。

②ホームページを活用した情報公開と発信

ア. ホームページ上で社協の概要、活動内容、計算書類等の情報を公開するとともに、福祉やボランティアの情報、イベントや各種募金について情報を発信しました。

イ. 情報公開と情報発信をする場としてのホームページを適切に運営・管理するため、随時情報を更新し、利用者や参加者の利便性の向上を図りました。

月平均アクセス数 14,105件

③社協だより「ほほえみ」の発行

年6回(奇数月)伊和ジャーナルの紙面に社協だより「ほほえみ」を掲載し、積極的な情報発信を行いました。

2. 人材の確保と職員育成

1. 職員の資質向上

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全職員対象の研修及び外部講師を招いて計画していた研修の開催を中止しました。

① 階層別研修

実施日	研修名	参加人数
4月1日(水)	新任職員研修	8名
5月1日(金)	新任職員研修	3名

② 担当者研修(内部研修)

実施日	研修名	参加人数
7月10日(金) 7月17日(金)	「予算と会計 入門編」	24名
8月18日(火) 8月27日(木) 11月10日(火)	「組織構成会員と地域福祉」 「地域福祉活動をささえる各種資金」	21名

2. 人事考課制度・目標管理制度の適正運営

考課者研修を実施し、制度の適正運営に向けて、考課者の資質向上を図りました。

実施日	研修名	対象人数	参加人数
4月23日(木)	新考課者研修	2名	2名

3. 人材確保

ホームページ、社協だより「ほほえみ」への掲載等により職員の求人を実施し、職員確保に努めました。

所属	採用(正規職員)	採用(非正規職員)
総務課	事務員(1名)	事務スタッフ(3名)

地域福祉課	ソーシャルワーカー (3名)	業務スタッフ (1名) 事務スタッフ (5名) 生活支援員 (1名)
介護支援課		介護員 (3名) 運転手 (1名)
昭和保育園	保育士 (1名) 調理員 (1名)	保育士 (3名) 看護師 (1名)

3. 働きがいのある、働きやすい職場づくり

1. 働きがいのある職場づくり

・職員安全衛生管理の取組みによる職員の安全の確保、健康の保持増進

職員衛生委員会を毎月開催し、職員が働きやすい職場づくりを推進するため、さまざまな課題について協議しました。

また、安全衛生管理規程に則り配置した安全推進者が「職場の安全推進チェックシート」による職場点検を行うとともに、安全推進部会において働きやすい職場づくりを推進するための協議・検討を行いました。

①職員衛生委員会

実施日	議 案
第 1 回 4 月 22 日 (水)	1) 第 1 回安全推進部会の報告について 2) 令和 2 年度職員衛生委員会・安全推進部会構成メンバーについて 3) 健康情報等の取扱規程の作成について
第 2 回 5 月 20 日 (水)	1) 第 2 回安全推進部会の報告について 2) 健康情報等の取扱規程の作成について
第 3 回 6 月 17 日 (水)	1) 健康情報等の取扱規程について 2) 職員アンケートについて
第 4 回 7 月 29 日 (水)	1) 第 3 回安全推進部会の報告について 2) 職員健康診断とストレスチェックについて 3) 産業医の職場巡視について
第 5 回 8 月 19 日 (水)	1) 職員健康診断とストレスチェックについて
第 6 回 9 月 11 日 (金)	1) 各事業所の衛生管理等について (産業医による職場巡視)
第 7 回 9 月 16 日 (水)	1) 産業医による職場巡視について 2) ストレスチェックの結果について 3) 「労働安全衛生法」に基づく長時間労働にかかる対応について
第 8 回 10 月 21 日 (水)	1) 第 5 回安全推進部会の報告について 2) インフルエンザ対応について
第 9 回 11 月 18 日 (水)	1) 第 6 回安全推進部会の報告について 2) 健康診断後の指導、治療勧告について 3) 夏季休暇取得率、インフルエンザ接種率 (11/12 現在) について
第 10 回 12 月 16 日 (水)	1) 第 7 回安全推進部会の報告について 2) 各事業所別インフルエンザ予防接種の接種率について
第 11 回 1 月 20 日 (水)	1) 第 8 回安全推進部会の報告について 2) 介護休暇取得にかかる申請手続きについて
第 12 回 2 月 17 日 (水)	1) 第 9 回安全推進部会の報告について 2) 令和 3 年度 心の健康づくり計画について

	3) 職員アンケートについて 4) 総務課付研修中の職員について
第 13 回 3 月 17 日(水)	1) 令和 3 年度 心の健康づくり計画について 2) 令和 3 年度 安全衛生管理計画及び実施結果報告書について 3) 職員アンケートについて 4) 総務課付研修中の職員について 5) ハラスメント事案について

②安全推進部会

第 1 回 4 月 17 日(水)	1) 3 月 25 日職員衛生委員会会議報告 2) 令和 2 年度安全推進部会の部長・副部長の選出について 3) 新型コロナウイルス感染症対応について 4) 10 月～12 月分チェックシートからの課題と改善に向けた提案について
第 2 回 5 月 11 日(月)	1) 4 月 22 日職員衛生委員会会議報告 2) 10 月～12 月分チェックシートからの課題と改善に向けた提案について
第 3 回 7 月 17 日(金)	1) 5 月と 6 月職員衛生委員会会議報告 2) 令和 2 年 4 月～6 月分チェックシート集計結果の共有 3) 名張社協職場のほけん便り配布について
第 4 回 9 月 24 日(木)	1) 8 月職員衛生委員会会議報告 2) 新型コロナウイルス感染症対策について
第 5 回 10 月 16 日(金)	1) 「職場の安全推進チェックシート」(7 月～9 月分)について 2) 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインの運用について
第 6 回 11 月 12 日(木)	1) 職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリストについて 2) ほけん便り配布について
第 7 回 12 月 10 日(木)	1) 新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA 感染症の登録者数について
第 8 回 1 月 15 日(金)	1) 12 月 16 日職員衛生委員会会議報告 2) 10 月～12 月職場の安全推進チェックシートについて 3) 職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリストの運用について 4) ほけん便り配布について
第 9 回 2 月 12 日(金)	1) 1 月 20 日職員衛生委員会会議報告 2) Zoom を活用したリモート会議の開催について 3) 職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリストの運用について 4) ほけん便り配布について

・職員の離職防止にかかる取組み

法人の重要課題となる離職に対する職員視点の課題を把握するために正規職員を対象に令和元年度に実施した「職員アンケート」の調査結果を踏まえ、職員代表と対応に向けた話し合いを行いました。

2. 働きやすい職場づくり

①新型コロナウイルス感染症予防・感染拡大防止に係る職員への取り組み

新型コロナウイルス感染症予防・感染拡大防止のために、職員が新型コロナウイルスへの感染や濃厚接触の疑いがあった時に、当該職員の就業を制限させるための新型コロナウイルス感染症予防・感染拡大防止に関する就業制限に係る内規を作成し、その運用を行いました。

②計画的な年次有給休暇取得の推進と、各種休暇制度の適正な運用

「働き方改革」の取り組みとして、年10日以上有給休暇が付与した職員に付与した日から1年以内に5日の有給休暇を取得するよう周知徹底し、全員取得させました。

③職場環境の改善へ向けた取り組み

「職場の安全推進チェックシート」を活用した職場環境の課題抽出・職場環境改善を安全推進部会において検討しました。

④在宅勤務の実施に伴う取り組み

新型コロナウイルス感染症予防・感染拡大防止に伴い、職員が自宅からでも執務できる体制づくりに向け、在宅勤務に係る内規の作成や環境整備に努めました。

⑤メンタルヘルス対策の取り組み

メンタルヘルス不調の職員に対し、相談窓口として相談支援を行うとともに、職場復帰に向けた取り組みとして他課での研修実施や復帰プログラムの実施に向けた検討協議を行いました。

イ. 地域福祉増進事業

1. 地域福祉活動計画の推進

1. 第4次名張市地域福祉活動計画の推進

第4次名張市地域福祉活動計画の初年度として、計画に基づき、地域住民の視点で地域福祉を推進していくため、各地域づくり組織、民生委員児童委員協議会、社会福祉活動団体や行政との連携のもと、基本目標を達成するために各事業をすすめました。

また、第4次名張市地域福祉活動計画を着実に推進していくため、名張市地域福祉活動計画推進委員会を設置し、進捗状況の確認及び評価を行うとともに、翌年度への見直しに向けた課題整理を行いました。

名張市地域福祉活動計画推進委員会の開催	3月19日(金)	推進委員 5名
---------------------	----------	---------

2. 暮らし応援ネットワーク事業

1. 地域担当職員（コミュニティソーシャルワーカー）の配置

地域福祉係地域担当職員3名が15地域を担当し、地域づくり組織や民生委員児童委員協議会の会合・行事等をはじめとする地域活動の場へ出向き、地域福祉の課題解決に向けた取組を関係機関とも連携し支援しました。

①地域の会議や事業等への参加状況（地域づくり組織の福祉部会等を除く）

参画支援	会議・事業等
15 地域	157 回

②民生委員児童委員協議会への参加状況

参画支援	民生委員児童委員協議会
8 協議会	73 回

③サロン支援状況

参画支援	ふれあい・いきいきサロン
15 地域（16 団体）	30 件

2. 安心して暮らすための見守り体制の強化

民生委員・児童委員の協力により、高齢者実態調査の機会に合わせて、救急医療情報キットに適切な情報を入れているのか取り扱いに関する声掛けを行ってもらい、漏れのない見守りの仕組みづくりをすすめました。また、外国人を雇用している企業への普及活動や各地域の市民センターへポスターやチラシを配布し PR 活動の拡大に取り組みました。

令和2年度申込	581 世帯・663 名
利用者数	3,544 世帯（107 世帯増） 5,192 名 （利用廃止 1,861 世帯・2,732 名 ※H24 からの廃止総数）
救急隊活用件数	34 件 期間：令和2年1月1日～令和2年12月31日

3. 課題解決に向けた共有の場づくり

各地域づくり組織の福祉部会等における課題解決については、各部会等へ参画し、課題を把握した上で、情報収集や資料提供、助言をすることにより、解決に向けた取り組みができました。

また、各地域でのボランティア等による生活支援・介護予防活動については、地域担当職員が協働して実施状況把握や活動支援に取り組みました。

①地域福祉部会等への参画支援

参画支援	会議・事業等
15 地域	99 回

②各種連絡会等の開催

ア. 配食ボランティアグループ連絡会

配食ボランティアグループ研修会の開催を通じて、コロナ禍で配食活動を実施するための工夫や悩みを共有し、新型コロナウイルス感染症対策に必要な情報提供を行いました。

研修会	テーマ「食品の安全と配食の衛生管理について」 日 時：令和2年11月17日（火）10:00～11:30 場 所：名張市教育センター 参加状況：配食活動5団体19名
-----	---

イ. ふれあい・いきいきサロン交流会

ふれあい・いきいきサロン交流会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため取り止めたが、株式会社アドバンスコープの協力のもと、高齢者・子育てサロンの様子をケーブルテレビで順次放送をしてもらうことで、サロン活動の周知を図りました。

高齢者・子育てサロン紹介数	2 団体
---------------	------

4. 地域における公益的な取組みの推進

①名張市社会福祉法人連絡会

地域における公益的な取組みが社会福祉法人の責務として位置づけられていることを受けて、各法人の既存の取組みに加え、さらに地域課題の把握や法人間の連携・協働による公益活動が求められることから、11の社会福祉法人が参加し「名張市社会福祉法人連絡会」を設立しました。

10月1日（木）全体会	・規約の制定について ・みえ福祉の「わ」創造事業について ・名張市共同募金運営委員会への委員の選出について
10月22日（木）役員会	・総会について ・事業及び予算について
11月20日（金）設立総会	・規約（案）について ・役員選任（案）について ・令和2年度事業計画（案）及び予算（案）について
11月20日（金）役員会	・令和2年度事業の進め方について
12月7日（月）役員会	・令和2年度事業について
12月23日（水）全体会	・令和2年度事業について
1月20日（水）役員会	・地域公益活動等の推進について ・広報啓発活動について ・福祉・人材確保に向けての取組みについて ・保育部会（仮称）の設置について
2月19日（金）役員会	・福祉避難所協定法人と名張市との懇談会について ・令和3年度事業計画（案）について
2月24日（水）全体会	・福祉避難所協定法人と名張市との懇談会について ・令和3年度事業計画（案）について
3月1日（月）	・福祉避難所協定法人と名張市との懇談会

②3つの層における公益的な取組み等

社会福祉法人が地域における多様な課題に積極的に取り組み、存在意義を示す地域公益活動として以下の3つの層において実施しました。

3つの層における公益的な取組み等	
名張市社会福祉協議会 （法人）	・地域福祉活動支援備品貸出事業 ・車いす貸出事業 ・地域福祉金庫貸付事業 ・法人後見事業 ・生活困窮者対策支援事業（食料支援）
名張市社会福祉法人連絡会 （市圏域）	・福祉避難所協定法人と名張市との懇談会
みえ福祉の「わ」創造事業 （県圏域）	・生活困窮者支援緊急食糧提供事業 ・緊急時物品等支援事業 ・生活困窮者就労活動支援事業 ・賃貸住居入居保証事業

3. 生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターを中心に、地域の多様な福祉課題に対応し、地域ささえあい活動を展開・実施する地域づくり組織と協力し、生活支援体制の整備に取り組みました。

1. 生活支援コーディネーターの配置による地域担当制の強化

①生活支援コーディネーターの配置

生活支援コーディネーターを1名配置し、各地域でのボランティア等による生活支援、介護予防活動について、実施状況把握や活動支援に取り組みました。

また、介護予防・認知症予防として効果のある「スクエアステップ」を活用して、スクエアステップリーダーや各地域が主体となってコロナ禍でも活動していくための支援を行いました。

さらには、まちじゅう元気プロジェクトへの協力を通じて、一般介護予防の新たなサービス実施展開に関する取組みをすすめました。

スクエアステップ 実施地域	11地域（鴻之台希央台、比奈知、すずらん台、桔梗が丘、つつじが丘、美旗、百合が丘、赤目、蔵持、薦原、梅が丘）
スクエアステップを 推進するための情報提供 （コロナ感染対策）	3月 対象者：177名 ・情報提供（コロナ禍で気をつけたいこと） ・アンケート（現状確認）
スクエアステップ リーダー活動補助、指導	6地域（すずらん台、つつじが丘、赤目、美旗、薦原、梅が丘） 14回
まちじゅう元気 プロジェクト支援活動地域	3地域（百合が丘、蔵持、梅が丘） 会議やプロジェクト事業へ参加、スクエアステップ実施等

②地域の社会資源マップ（冊子）の更新、活用

まちの保健室・地域担当保健師と社会資源の現状を話し合い、「各地区の社会資源」マップを作成しました。

2. 住民による生活支援サービスへの取組み支援

①生活支援に係る活動情報整理、情報交換の場の開催

生活支援コーディネーターを中心に、地域の多様な福祉課題に対し、地域ささえあい事業を展開・実施する地域づくり組織と協力し、生活支援体制の整備に努めました。

地域ささえあい 活動連絡会	第1回：10月29日（木）10:00～11:30 場所：名張市防災センター 参加状況：地域ささえあい活動10団体20名 第2回：2月26日（金）13:30～15:00 場所：総合福祉センターふれあい ふれあいホール 参加状況：地域ささえあい活動10団体20名
地域ささえあい 活動実施検討地域 への立上げ支援	国津地区地域づくり委員会：準備検討会議へオブザーバーとして出席し、令和3年6月の実施に向けて必要な情報提供や検討課題の整理を行いました。 ・会議9回 ・勉強会1回（隠おたがいさんへ）
地域ささえあい 活動連絡会テーマ 別分科会の設置	10月29日（木）10:00～ 第1回連絡会において、活動計画に基づく分科会を設置に向けた説明 2月26日（金）13:30～

	第2回連絡会において、分科会の進め方について説明（目的、活動内容、設置の必要性・位置づけ、メンバー、日程、想定課題等）
--	---

②生活支援活動者フォローアップ研修等の実施

地域ささえあい活動 フォローアップ 研修会	講義「介護保険で出来ること・出来ないこと」 活動発表「有償ボランティアで出来ること・出来ないこと」 日時：3月12日（金）14:00～15:30 場所：名張市防災センター 参加状況：地域ささえあい活動8団体29名 シルバー人材センター 5名 有償ボランティア1団体3名 地域ささえあい活動準備検討1地域3名
-----------------------------	--

4. ボランティアセンター事業

1. ボランティアセンター運営委員会

市民のボランティアに対する理解と関心を高め、ボランティア活動の育成・援助を行うと共に、ボランティア相互の連携を図り、地域福祉の推進に寄与することを目的とするボランティアセンターの円滑な運営とボランティア活動の推進を図りました。

第1回 5月13日（水）	・委員長・副委員長の選出について ・名張市社協理事・評議員の選出について ・名張市共同募金委員会運営委員の選出について
第2回 8月18日（火）	・名張市ボランティアセンター設置要綱の制定について ・名張市ボランティアセンター運営委員会設置要綱の一部改正について ・第50回名張市社会福祉大会における被表彰者の推薦について ・ふれあいフェスティバルの開催について ・名張市災害ボランティアセンター運営委員の選出について
第3回 3月3日（水）	・令和3年度事業計画（案）について ・名張市社協理事及び評議員の選出について ・名張市共同募金委員会運営委員の選出について

2. 課題解決にむけた連携機能の強化

地域福祉活動団体やボランティアグループとの連携や養成に向けた講座や研修会等については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施することができませんでした。

ボランティア連絡協議会は定期的に開催をし、ボランティア団体同士の連携と強化を図るとともに、新たなボランティアグループの協議会へ参加について協議しました。

ボランティア連絡協議会への参加団体数	17団体
--------------------	------

3. 人材養成研修の体系化、運用モデルの検討

地域担当職員が15の地域づくり組織へ出向いて、福祉活動団体やボランティアグループと意見交換を実施するとともに、育成強化に向けた話し合いを行いました。

4. 福祉教育の充実と推進

福祉協力校間の情報共有を図り、福祉教育活動を推進するための連絡会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会議を中止し書面確認としました。

小中学校における福祉教育については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染対策と注意喚起をした中で、出前講座を実施しました。

10月13日(火)	美旗小学校 2年生・66名 車イス体験
1月28日(木)	北中学校 2年生・36名 「働く人から学ぶ会」の講演
2月4日(木)	箕曲小学校 4年生・14名 視覚・車イス体験、高齢者疑似体験

5. 災害ボランティアセンターの運営

名張市災害ボランティアセンターの運営体制の充実強化のため運営委員会を設置し、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを策定するとともに、災害ボランティアを対象とした研修会を開催しました。

①災害ボランティア

災害ボランティア登録数	個人60名及び1団体
-------------	------------

②災害ボランティアセンター運営委員会

10月7日(水)	・災害ボランティアセンター設置要綱について ・災害ボランティアセンター運営委員会設置要綱について ・災害ボランティア事前登録要綱について ・委員長及び副委員長の選出 ・今後のスケジュール(案)及び意見交換
11月25日(水)	・災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルについて
1月18日(月)	・災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルについて
3月12日(金)	・災害ボランティア研修及び情報交換会の開催について ・令和3年度事業計画(案)について
3月28日(日)	・災害ボランティア研修及び情報交換会

③名張市や関係機関・団体との連携強化

2月17日(水)名張ライオンズクラブとの間で、自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定を締結しました。

5. 福祉まちづくりセンター事業

1. 相談、活動支援

①ボランティアコーディネーターによる相談、活動支援

福祉まちづくりセンターはショッピングセンターリバーナ3階に設置をし、夜間は19時まで、また土日祝も開設することにより、ボランティア相談やボランティア活動保険の加入、助成事業の申込など住民の利便性を高めることができました。

相談実績(相談区分と件数)

ボランティア 相談区分	新規	継続	延べ	ボランティア以外 相談区分	新規	継続	延べ
ボランティア依頼	20	23	43	情報提供等	28	6	34
ボランティア希望	13	7	20	社協事業問合せ	479	60	539
活動支援	136	18	154	受付(申込等)	289	17	306

情報提供	27	8	35	問合せ(軽微なもの)	96	1	97
情報発信	0	0	0	助成受付	4	0	4
その他	9	2	11	その他	281	1	282
計	205	58	263	計	1,177	85	1,262
				窓口利用者数			
				1,007			

②会議室等利用実績

利用件数	利用団体	利用者数
53件	36団体	349人

③イベント企画を通じたボランティア団体等の参画促進

活動者のみならず、広く住民に周知しボランティア活動にふれてもらうため、遊び感覚で参加できるイベントを実施し、センターやボランティア活動の周知に努めました。

イベント開催回数	参加延人数（協力者含む）
262回	2,068人

④イベント等ボランティア活動の場づくり事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の中止が余儀なくされる中、再開時には、福祉まちづくりセンターコラボレーション事業として、ボランティア団体等と協働でイベント等を実施しました。

開催日	イベント内容	参加数
12月13日（日）	こどもなんでも体験団「癒しのカラフル☆キャンドルをつくろう」	41名
12月13日（日）	おもちゃ図書館&おもちゃばこ合同クリスマス会	27名

2. 活動のきっかけづくり

例年開催しています「ふれあいフェスティバル」をはじめとした、ボランティアや福祉施設等との交流や体験教室等は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

3. 広報啓発

福まち新聞	月1回（1日発行）Vol. 139～148（計10回）
情報発信、啓発 （随時）	・ホームページやフェイスブック、ツイッター ・地域の広報紙やボランティアに関するチラシ等の設置 ・イオン名張店1階名張忍ラウンジでの掲示 ・センターフロア内にボランティア活動団体紹介のパネル展示 ・なばボラネットの活用

4. 担い手の育成、活動支援

①地域福祉担い手養成事業の実施

「地域で何か人のために活動してみたい」と考えている方、これから地域福祉活動を始めようと考えている方、現在、市内各地域で地域福祉に取り組んでいただいている方を対象に養成講座を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

傾聴ボランティアの養成支援やスクエアステップ教室については、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら実施しました。

実施内容	
傾聴ボランティアの 養成支援	定例会に参加し研修会等の調整を支援（毎月1回） 施設訪問中止に伴い定例会を研修の場とする。（7回実施） 「傾聴ボランティアステーション」の立ち上げ

スクエアステップ教室	8月～3月（全14回）毎月第2・4水曜日 延べ参加者91名
------------	----------------------------------

②子育て支援員養成研修の実施

こども支援センターかがやきと連携し、子育て支援や働く女性のための支援活動を実施しました。

実施講座	内容
子育て支援員研修	12月3日(木)～1月20日(水) 18日間 参加者35名

5. 交流活動

①おもちゃ図書館サロン事業「おもちゃばこ」の開催

おもちゃばこ	第2・4日曜日(保護者63名 子ども71名)
--------	------------------------

②家族介護者の会「楓の会」共催による事業実施

さくら喫茶	毎月1回(計7回) 参加者48名
介護者のつどい	3月2日(火) ふれあいホール 15名

③市内障害者福祉施設等による「福祉のおみせ」の出店支援

出店団体	・名張育成園パン工房ういず（令和2年3月から販売中止） ・Kobo れもんぐらす（令和元年6月から休止） ・アガペの家（令和元年7月から休止）
------	---

6. 福祉団体等当事者活動支援

1. 福祉団体等との連携・協働の強化、当事者活動支援

①福祉団体の自立運営支援と協働

各福祉団体（老人クラブ連合会、身体障害者互助会、遺族連合会、保護司会）との「事務に関する覚書」を本年度も締結し、団体運営に必要な事務補助や各会議への出席等各福祉団体と連携することにより、各団体活動が円滑に実施することができました。

②家族会等の活動支援

ア. 家族介護者の会「楓の会」運営支援

家族介護者の会「楓の会」事務局運営支援とともに「さくら喫茶」や「介護者のつどい」を共催で行いました。

イ. 精神障害者家族会「なばるの会」との連携

家族会との連携を図るため、毎月1回定例会に出席し情報提供や活動支援に取り組みました。

ウ. 障害者スポーツ大会実行委員会事務局運営支援

3障がい（知的・精神・身体）を代表する団体が主体となり関係機関・団体等が参画して組織する「障害者スポーツ大会実行委員会」の事務局として、大会運営の支援を行いました。

9月26日(土)	新型コロナウイルス感染症防止のため開催を中止しました。 三役会の開催（2回）
----------	---

③とれたて名張交流館事業への参画

とれたて名張交流館運営協議会へ参画し、「とれなば」の健全な運営に向けた意見交換を行うとともに、出店をしている、高齢者や障がい者団体への支援を行いました。

「とれなば」への出展団体数	13団体
---------------	------

④追悼式開催支援

各地域づくり組織や地区遺族会主催における追悼式開催へ助成を行いました。（４地区）

⑤交流活動

おもちゃ図書館の運営

開館日数	１４３日
利用者数	３０９名(大人１３２名、子ども１７７名)
協力ボランティア	１名(活動日数 １１６日)

２．地域福祉活動助成事業

①地域福祉活動助成事業

各財源に基づく委員会等での審査・決定により、地域福祉活動団体への活動助成を通じ、支援を行いました。令和元年度の募金運動実績に基づき本年度７，２４１，０４０円（百貨店募金を含む）の配分を受け、地域福祉活動への助成支援並びに市社協事業に活用しました。

助成内容	金 額
地域づくり組織が取り組む福祉活動	１，２７４，３４０円
地域福祉活動助成事業	５，１００，１００円
市社協事業	８２５，２６０円

地域福祉活動助成事業 事業名	助成額	財源
地域見守り配食事業	９６９，１００円	共同募金配分金（７件）
	３９７，１００円	善意銀行寄付金（２件）
地域見守り事業	２，５３５，０００円	共同募金配分金（７９件）
ひとり暮らし高齢者のつどい事業	２０３，６５０円	補助金（７件）
ボランティア活動事業	１，０８０，０００円	共同募金配分金（３０件）
福祉協力校活動事業	５１６，０００円	共同募金配分金（２１件）
当事者・家族会活動事業	１３５，０００円	善意銀行寄付金（６件）

②各地域づくり組織への福祉活動助成

１５の地域づくり組織の協力のもと行った戸別募金の取組みに対して、社協会費は５０％、共同募金は２０％、日赤活動資金は１０％を還元しました。

③歳末たすけあい運動配分事業

本年度は２，８８８，６７７円の募金協力と配分を受け、歳末たすけあい運動配分事業及び広報啓発事業への活用として全額配分しました。

３．共同募金配分事業、歳末たすけあい運動配分事業

①名張市共同募金委員会の運営

住民参画による共同募金運動をすすめるため、名張市共同募金委員会を開催し事業を展開しました。

運営委員会	委員１０名 開催４回、 監事２名 監査１回
-------	-----------------------

②共同募金運動の展開

ア．地域づくり組織とともに、戸別募金への協力と活用周知

各地域づくり組織の会合等において、募金協力依頼と活用についての説明を行い、理解と協力をお願いしました。

イ. 法人募金の取組み

市内企業を中心に訪問等により協力依頼しました。また、(株)ユー(伊賀タウン情報ユー)による、紙面広告にあわせての法人募金の取組みへの協力をいただきました。

協力いただいた企業等	124件	募金額	1,403,000円
------------	------	-----	------------

ウ. 共同募金実績 9,417,249円

募金の種類	実施、協力依頼等の内容
戸別募金	1世帯あたり500円を目安に、全世帯に協力を依頼
街頭募金	市内スーパー等14店舗にて31ヵ所実施(協力138人)
法人募金	市内の企業等へ依頼(依頼283法人、協力124法人)
学校募金	小学校14校、中学校5校、高校2校、高等専門学校1校 特別支援学校1校
職域募金	市や小中学校をはじめ、市内の社会福祉法人や企業等の職員へ依頼 (依頼50職域、協力41職域)
イベント募金	イベントでの募金箱設置や模擬店による啓発(5ヵ所13日間)
個人募金	個人での協力や、「鬼滅の刃」のクリアファイル、バッジ等の共同募金啓発グッズ、募金機能付き自動販売機やマッサージ機利用による募金並びに、ボランティア活動の場や店舗・市役所等への募金箱設置(協力76件)
UMOU募金	主に市内から羽毛製品の回収31点

エ. 歳末たすけあい募金実績 2,888,677円

募金の種類	実施、協力依頼等の内容
戸別募金	1世帯あたり100円を目安に、全世帯に協力を依頼
個人募金	名張市仏教会様、他1件より寄附

オ. 三重の赤い羽根募金百貨店プロジェクト

参加企業から地域住民へ寄附付商品を提供し、収益の一部を募金していただく、三重の赤い羽根募金百貨店プロジェクトの取組みを進めました。新たに1企業が参加し、4月7日(火)に、総合福祉センターふれあいにおいて覚書調印式を行いました。

参加企業	寄附付商品内容	募金額
5企業	食事代や宴会代の収益の一部を寄附	40,000円

カ. 災害義援金の呼びかけ、受付

災害支援のため、市役所等への募金箱設置や義援金の受付を行い、三重県共同募金会を通じて送金し、被災地支援に取り組みました。

災害名	受付期間	本年度送金額
平成28年熊本地震義援金	平成28年4月15日～ 令和3年3月31日	41,361円
令和元年台風15号災害義援金	令和元年9月17日 ～令和2年6月30日	390円
令和2年度7月豪雨災害義援金	令和2年7月7日 ～令和4年3月31日	518,096円

③共同募金を活用した社協主催事業

ア. 広報、啓発事業

名張市社会福祉大会を名張市と共催で開催し、本市において社会福祉活動等に功績のあった個人・団体を顕彰しました。また、社協だより「ほほえみ」へ共同募金の計画や報告等の掲載による啓発を行いました。

なお、例年開催しています、ふれあいフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

イ. 当事者等支援事業

在宅介護者が日頃の悩みや介護体験を相互に交流することにより、心身のリフレッシュや各種情報交換を図ることを目的に、介護者のつどいを開催しました。

介護者のつどい	音楽でこころとからだをリフレッシュ、皆で楽しくうたいましょう 開催日：3月2日（火） ふれあいホール 参加者：15名
---------	---

4. 善意銀行事業

①適正な運用管理

住民からの寄附を受け効果的に配分・活用することを目的として、運営委員会を開催し、善意銀行の運営を行いました。

ア. 名張市善意銀行運営委員会

6月4日（木）	令和元年度実績報告について 令和元年度地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定について 令和2年度地域福祉活動助成事業にかかる審査について
3月16日（火）	令和2年度寄附状況と配分（支出）状況について 令和3年度事業計画（案）について

イ. 寄附受領実績

種 別	件 数	金 額・物 品
現金の寄附	17件	1,079,105円
物品の寄附	8件	マスク（2件・7,000枚）・使い捨て手袋（1,000枚）・米（3件・70kg）・アルファ米（100食）・自販機型保冷庫

②計画的な運用

事業内容	金 額	備 考
罹災者救援要綱に基づく見舞金	60,000円	火事見舞（全焼）3件
地域見守り配食事業	397,100円	2団体
当事者・家族会活動事業	135,000円	6団体
車イス一時貸出事業	99,000円	修理、点検及びタイヤ交換
計	691,100円	

5. 日本赤十字社名張市地区事業

①赤十字運動月間における赤十字活動の周知と活動資金の募集

日本赤十字社の人道的諸活動を行うための活動財源として、地域づくり組織を通して、全世帯を対象に一世帯あたり500円を目安にお願いしました。

日赤活動資金の実績

活動資金の内容	金 額
各世帯	6, 5 3 7, 7 5 7 円
法 人	5 7 9, 0 0 0 円
個人・寄附箱	5 0, 0 0 0 円
合 計	7, 1 6 6, 7 5 7 円

②活動資金募集にかかる地域づくり組織への協力依頼

4月から5月にかけて15地域の会合に出向き、日赤活動資金をはじめとする、年間通じて取り組む各種資金募集への協力を依頼しました。

③地域づくり組織への福祉活動助成、講習会開催の促進

地域づくり組織における福祉活動支援として、日赤交付金より653,740円を助成しました。

④災害義援金の呼びかけ、受付

災害支援のため、市役所等への募金箱設置や義援金の受付を行い、日本赤十字社を通じて送金し、被災地支援に取り組みました。

災害名	受付期間	本年度送金額
東日本大震災義援金	平成23年3月14日～ 令和3年3月31日	147,979円
平成30年7月豪雨災害義援金	平成30年7月10日～ 令和3年6月30日	24,438円
令和元年台風第19号災害義援金	令和元年10月16日～ 令和3年3月31日	38,191円
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	令和3年2月24日～ 令和3年5月31日	104,490円

6. 名張市社会福祉協議会窓口サービス

社協に寄せられるさまざまな問合せや相談等に対応するとともに、窓口サービスの向上に努めました。

①地域福祉活動支援備品の貸出

地域福祉活動を支援するため、活動に役立つ各種備品を貸出しました。

貸出件数	179件 プロジェクターや模擬店機材等(115件) 地域福祉教育備品(10件)、 楽器等(54件)
利用団体数	45団体

②車イス無料貸出事業

市民団体や企業等から寄贈いただいた車イスを、市民がケガ等により一時的に必要とされる場合の支援として延べ79件貸出をしました。

使用目的	貸出件数
通院や通学のため	41件
買物等行楽のため	23件
自宅内での移動のため	15件

ウ. なばり暮らしあんしんセンター

1. 福祉サービス利用援助事業

1. 日常生活自立支援事業の推進

なばり日常生活自立支援センターの相談件数は、前年度より 82 件増加しました。新規契約の締結は 15 件、実利用人数は 6 名増加し 73 名になりました。契約終了件数については 9 件で、後見人等への引継ぎは 2 件、次いで転居 2 件・施設入所 3 件・死亡 2 件、となっています。

成年後見事業を始め、市内関係機関と連携し切れ目のない権利擁護支援に取り組みました。

①相談援助件数等

事項/対象者	認知症 高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他	合計
問合わせ件数	0	0	1	0	1
初回相談件数	6	11	8	1	26
相談援助件数	1,022	2,446	1,767	163	5,398
契約締結件数	4	8	3	0	15
終了件数	2	5	2	0	9
実利用人数 (令和2年度末)	15	28	28	2	73

実利用者数の推移

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度
実利用者数	64	59	63	67	73

②生活支援員活動の推進

生活支援員 担当件数	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	合計
	14	26	27	2	69
活動者名(登録者21名、うち新規1名) 生活支援員による支援 68件/73件 支援員対応率93%					

③「地域福祉」担い手養成研修 ～生活支援員養成講座～

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

④生活支援員定例会の開催

活動中の生活支援員を対象に、定例会を下記のとおり開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、少人数で4回に分けて実施しました。

2月24日(水) 3月9日(火) 3月12日(金) 3月17日(水)	・日常生活自立支援事業利用料助成の廃止とサービス利用料の徴収 ・日常生活自立支援事業における課税区分の扱い ・支援用紙の記入の仕方
---	---

2. 相談支援体制の強化

①関係機関との連携

三重県社協日常生活自立支援事業契約締結審査会のほか、権利擁護に関する各種協議会、連絡会等において、関係機関との情報共有や支援連携を実施しました。

会議等への参画	・三重県社協日常生活自立支援事業契約締結審査会（毎月） ・地域ケア会議、カンファレンスへの参加（４８回）
---------	---

②資質向上にむけた研修会等への参加

当年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web 会議システム等を活用したオンライン研修に参加しました。

研修会への参加	・DWAT 養成研修（7/30）訓練等企画会議（11/18 、12/8） ・地域福祉実践力向上研修（1/27） 他機関協働による包括的相談支援の実践 ・相談支援包括化推進員等養成事業（9/30、10/13） コミュニティーソーシャルワーカースキルアップ研修 ・リンクワーカー養成研修（1/18、1/26、1/29） ・福祉関係者が知っておきたい「任意後見制度」（3/11） ・意思決定支援をふまえた後見事務のガイドラインを学ぶ（2/19） ・日常生活自立支援事業専門員研修Ⅱ（3/30）
---------	---

2. 成年後見事業

1. 法人後見事業の運営

①法人後見等の受任

親族関係や経済的な理由等により適切な後見人等を得られない方々に対して、法人が後見の受任をし、財産管理や身上保護を行うことで、安心して生活ができるよう支援をしました。

（令和２年度受任件数：後見３件、保佐３件 期中、１件類型変更を行い後見４件、保佐２件）

支援実績	来所	訪問	電話	合計
後見（４件）	9	5 4	1 6 3	2 2 6
保佐（２件）	6 3	1 5 0	7 2 4	9 3 7

②法人後見受任委員会の開催

法人後見受任の検討や適切な法人後見業務の実施のため、法人後見受任委員会を市内外の法律関係者、学識経験者、民生委員・児童委員、名張市等の参画のもと４回開催しました。

開催回数・日程	検討項目
第３５回 ６月 ５日（金）	・法人後見受任者の経過報告と支援計画について ・類型変更に係る審査について ・遺産分割協議案件にかかる相談事例について 等
第３６回 ８月 28 日（金）	
第３７回 11 月 27 日（金）	
第３８回 ３月 ２日（火）	

③研修等への参加による職員の資質の向上

研修等に参加し、専門的知識を深め支援の質の向上に努めました。

研修会の参加	・成年後見にかかるスキルアップ研修会（11/13） ・後見人等への意思決定支援研修（3/3） ・福祉関係者が知っておきたい「任意後見制度」（3/11） ・成年後見制度関連業務担当者 オンライン情報交換会（3/22） ・相談支援包括化推進員等養成事業（9/30、10/13） 第１・２回 コミュニティーソーシャルワーカースキルアップ研修 テーマ：重層的支援体制整備事業について
--------	---

④法人後見支援員の育成・支援

被後見人等の居所訪問を行う法人後見支援員を確保し、法人の強みである身上保護面の対応を中心に法律関係者等と連携して育成・支援に取り組みました。

(法人後見支援員数：5名／担当件数5件)

2. 名張市における法人後見受任体制のあり方検討（研修会開催）

名張市では第三者後見人（担い手）不足が深刻なことから、法人後見の特性である複数人体制で、その人らしく地域で生活できるよう、特に意思決定支援・身上保護面を重視した後見活動ができる体制作りの検討を行いました。法人後見専門員の専門性向上にとどまらず、法人後見支援員の候補者育成、価値・知識・技術の向上を図るため研修会を開催しました。

日 程	内 容	講 師
8月31日（月）	法人後見・法人後見支援員に期待されること	皇學館大學 現代日本社会学部教授 鶴沼 憲晴
	成年後見制度各論（法定後見）・成年後見実務Ⅰ	司法書士 川合 良司
9月2日（水）	成年後見実務Ⅱ	司法書士 川合 良司
	年金制度と健康保険制度	社会保険労務士 市川 周
9月18日（金）	民法（家族法と財産法）・消費者契約法	弁護士 大塚 耕二

3. 相談支援体制の強化

関係機関等と情報、支援方針を共有し、チーム支援に取り組む体制強化を推進しました。

地域ケア会議等関係機関との協議	・伊賀地域福祉後見サポートセンター（運営委員会4回、名張市地域包括支援センターとの情報交換会12回） ・津家庭裁判所伊賀支部との意見交換会 3回 ・地域ケア会議、カンファレンスへの参加 20回
-----------------	--

4. 権利擁護に関する総合相談

関係機関と連携しながら、成年後見制度の申立や高齢者や障害者及びその家族からの先々の生活不安への相談等に関する相談支援を行いました。

相談・対象区分	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明その他	合計
新規相談	5	2	2	0	9
継続相談	15	4	6	0	25
問合せ	1	0	0	1	2

3. 生活困窮者自立支援事業

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、今まで寄せられることが無かった個人事業主やフリーランス、他国籍の方からの相談が増加し、感染症防止策を講じつつ、「新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金」による人員体制の強化を図り、急増する相談への対応を行いました。

仕事、金銭、健康及び家族に関する問題など、様々な困りごとを抱える生活困窮者に対して、包括的かつ継続的な支援を実施しました。課題を整理し、本人とともに目標や具体的な支援プランを作成し、自立に向けて、伴走型の支援を行いました。また、生活保護受給者に対する支援を実施することで、生活保護制度と横断的な支援が可能となり、切れ目のない一体的な支援を行いました。

1. 相談支援体制の基盤強化

生活困窮者自立支援事業の専門相談員の確保を図るとともに、相談援助職として必要となる知識・技術等の向上のため、研修会に参加し、相談員の資質向上を図りました。

また、社協が持つ日常生活自立支援事業や福祉資金貸付事業、居宅介護支援事業等との連携を図るとともに、市内社会福祉法人をはじめとする地域のネットワークを活用し、支援体制の基盤強化を図りました。

研修会への参加	・生活困窮者自立支援制度における東海北陸ブロック研修（12/9、12/10） ・第7回生活困窮者自立支援全国研究交流大会（11/15～1/11） ・家計改善支援事業従事者養成研修（11/16～12/21） ・相談支援包括化推進員等養成事業（9/30、10/13） 第1-2回 コミュニティーソーシャルワーカースキルアップ研修 （重層的支援体制整備事業について） ・相談支援包括化推進員等養成事業 地域福祉実践力向上研修 外国人住民支援（2/8） 精神障がい者理解（1/25） 多機関協働による包括的相談支援の実践（1/27） 出所者支援（2/25） ・リンクワーカー養成研修（1/18、1/26、1/29） ・伊賀市事例検討会（10/21）
---------	--

2. 必要な方へ必要な情報を届けるための周知啓発

生活困窮者自立支援事業に関する事業啓発を民生委員・児童委員、地域包括支援センター職員に向けて行い、連携方法等について協議しました。

地区民児協	・蔵持地区 8/22 ・桔梗が丘地区 10/14 ・錦生赤目地区 11/20
地域包括支援センター	・全体研修会 10/15

3. みえ福祉の「わ」創造事業 食糧提供支援等実施状況

三重県内の社会福祉法人が、協働して「制度の狭間の課題」に取り組む三重県社会福祉法人地域公益活動事業みえ福祉の「わ」創造事業を活用し、生活に困窮される方へ食糧提供等を実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急食糧提供	4	5	7	1	5	8	3	2	3	13	3	6	60
緊急時物品等支援	1	3	0	0	2	1	0	1	1	1	1	0	11
合計	5	8	7	1	7	9	3	3	4	14	4	6	71

4. 生活困窮者対策支援事業

名張市八幡のコープみえ伊賀センターが実施する宅配サービスで発生した返品商品や余剰品を生活に困窮される方へ食糧として提供するため生活協同組合「コープみえ」と協定を締結し、以下のとおり食料提供を行いました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急食糧提供	0	3	1	6	13	6	6	2	1	1	2	3	44

5. 三重県居住支援連絡会への参画

住まいの確保が難しい方(住宅確保要配慮者)に対し、トラブル仲裁や緊急対応の案内といった必要な支援を行うことを目的に、名張市とともに、居住支援団体として、三重県居住支援連絡会の活動に参画し生活相談会を開催しました。

「生活相談会」の開催 2月6日(土) 10～15時	主催：名張市社会福祉協議会 共催：名張市営繕住宅室 ・ 三重県居住支援連絡会 実施場所：福祉まちづくりセンター 参加者8名
---------------------------------	--

6. 自立相談支援事業

一人ひとりに寄り添った丁寧なインテークを行い、本人とともに課題を整理し、プランを作成することにより、自立に向けた支援を実施しました。また、多様化、複雑化する課題に対応し、必要な支援につなげるため専門職（インテークワーカー）を養成しました。

①相談件数(延べ件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	137	86	102	87	112	89	73	105	109	143	140	125	1,308
訪問	26	15	19	13	24	16	18	12	32	33	20	39	267
来所	41	57	49	61	54	54	82	56	48	64	82	84	732
検討	4	3	1	3	1	1	5	6	10	4	8	4	50
同行	9	11	9	6	8	4	3	7	6	4	7	4	78
連携	0	0	0	2	1	1	0	2	1	3	5	2	17
その他	7	10	9	6	1	3	5	4	15	8	7	6	81
合計	224	182	189	178	201	168	186	192	221	259	269	264	2,533

②住居確保給付金

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で収入が減少し、離職・廃業と同程度の状況にある方（離職・廃業から2年以内の方または休業等）に対して、家賃相当額を名張市から家主に支給する住居確保給付金に関する相談や申請受付を行いました。

新規・延長・再延長・再々延長・再支給の合計

件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談	18	17	30	41	36	21	53	43	49	69	53	62	492
申請	0	7	8	3	7	9	5	8	4	4	7	8	70
承認	0	6	8	3	7	9	4	7	3	4	6	8	65
金額	0	210	332	96	202	356	140	280	126	140	270	296	2,448

(金額：千円)

③支援調整会議の開催

支援内容を検討し、支援の可否を判断するとともに、地域における課題の共有と改善を目的として、関係機関と支援調整会議を月1回開催しました。

支援決定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	6	5	11	11	8	18	10	14	8	9	3	8	111
評価・再プラン	0	0	0	1	2	1	2	3	1	1	5	5	21
モニタリング・検討	2	0	1	2	2	1	1	1	2	0	3	0	15

終結	3	2	4	7	6	5	5	4	10	7	10	6	69
報告・相談・協議	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	5
合 計	11	8	16	22	19	25	18	23	21	17	21	20	221

④生活保護受給者等就労自立促進事業の実施

離職者等に対し、生活保護に至る前の段階で就労支援等を実施しました。

10代	20代	30代	40代	50代	60代	就職率
0名	0名	0名	2名	0名	1名	50%

7. 就労準備支援事業／被保護者就労準備支援事業

すぐには就労することが困難な生活困窮者及び生活保護受給者に対し、以下の支援を段階的に実施しました。ニーズに応じた段階的な支援メニューを提供することにより、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援を実施することができました。

①支援実施状況

- ・就労に向けて生活習慣の改善等を促す生活自立支援
- ・コミュニケーション能力や社会参加能力を養う社会自立支援
- ・就労に関するスキルやマナーを習得する等の就労自立支援

ア. 就労準備支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	0	0	3	8	0	8	4	5	4	11	15	6	64
来所	2	2	2	3	0	1	1	1	0	1	0	2	15
体験	0	0	0	9	7	10	15	10	8	5	8	8	80
カンファ等	0	1	1	2	1	1	1	0	0	0	3	1	11
その他	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
合計	3	3	6	22	8	21	22	16	12	17	26	17	173

※体験には見学も含む

イ. 被保護者就労準備支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	0	0	0	0	0	0	0	4	2	3	0	1	10
訪問	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3
来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3
体験	0	0	0	0	0	0	0	4	4	3	12	18	41
カンファ等	0	0	0	0	0	1	2	2	6	0	0	1	12
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	0	0	0	0	0	1	4	10	13	9	12	21	70

※体験には見学も含む

②協力事業所における就労体験

地域内にある事業所の協力を得て、各事業所で行う業務の一部を継続的な就労体験の場として提供しました。事業所における実際の業務を体験することで、就労に向けての経験を積めるよう支援を行いました。本年度は、新型コロナウイルス感染症による影響をうけ1事業所のみの実施となりました。

支援実施状況（延べ件数）

事業所名	体験	見学	事業所名	体験	見学
隠おたがいさん	0	0	ASA ネットワーク桔梗が丘西部	0	0
あぐりの杜	0	0	NPO 法人アガペの家	117	0
特別養護老人ホーム国津園	0	0	株式会社ユー	0	0
名張特別養護老人ホーム	0	0	レインボークラブ	0	0
協力事業所 合計 8 事業所				117	0

8. 家計改善支援事業（旧家計相談支援事業）

公共料金や家賃の支払いが計画的に行えない等、家計に関する生活課題を抱えている生活困窮者に対して、家計支援の視点から、自立に向けての支援を実施しました。生活困窮者本人が家計の現状を理解し、改善方法を考え、将来にわたって家計管理ができるよう、支援を実施しました。

①支援実施状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
電話	12	4	3	1	3	1	2	2	3	2	2	2	37
訪問	3	2	3	0	2	0	1	0	1	0	0	0	12
来所	2	1	6	0	1	2	1	4	3	2	1	3	26
検討	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	17	7	12	1	6	3	4	6	7	4	3	6	76

9. 被保護者就労支援事業

稼働能力判定会議の開催

自立相談支援事業における支援調整会議と一体的に運営することで、情報の共有も容易になり、両事業で連携した支援が可能となりました。

支援決定	6 月 1 件、 10 月 1 件、 1 月 1 件、 3 月 1 件	合計 4 件
その他・協議	6 月 1 件、 10 月 1 件、 11 月 1 件、 3 月 1 件	合計 4 件

4. 生活福祉資金等貸付事業

生活困窮者が社会生活を営むなかで、不時の出費を必要とする場合に、社会の一員として円滑な社会生活が送れるよう、民生委員・児童委員や名張市社会福祉事務所、三重県社協と連携した貸付事業を行いました。

1. 地域福祉金庫貸付事業

生活困窮者等に対して、3 万円を上限とした緊急的な貸付支援を行い、社会生活が送れるように自立相談・償還指導を行いました。また、生活保護受給者（申請中含む）に対しては、効果的な貸付けを行うため名張市社会福祉事務所との連携を図りました。

貸付相談件数（延数）	1 6 8 件
貸付金額	9 0 8, 0 0 0 円 （ 4 6 件）
償還額	1, 0 8 3, 0 0 0 円 （ 4 4 件）
未償還額（過年度分含む）	8 5 3, 0 0 0 円 （ 4 4 件）

2. 生活福祉資金貸付事業

障害者世帯・高齢者世帯・低所得世帯に対して、低利または無利子での資金の貸付と必要な援助指導を行う事により経済的自立や生活意欲の助長促進を図りました。

近年、複合的な生活課題を抱え、相談される方が多く、生活困窮者自立支援事業と連携し自立に向けた支援や社会参加を図ることができました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり生活福祉資金の貸付と比較しても、特例貸付への申請が多かったため貸付件数が少ない結果になりました。

①相談及び貸付内容

資金の種類		相談件数(延数)	貸付件数	貸付金額
総合支援資金		0	0	0円
福祉資金	療養費・介護費	10	0	0円
	福祉費	89	1	146,000円
	福祉費(住宅)	22	0	0円
	障害者自動車購入費	10	0	0円
	生業費	7	0	0円
	技能習得費	6	1	888,000円
	緊急小口資金	33	0	0円
教育支援資金		55	2	1,160,000円
不動産担保型生活資金		7	0	0円
その他		21	0	0円
合 計		260	4	2,194,000円

②長期滞納者面談

件数	4件
----	----

3. 生活福祉資金貸付事業の特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響によって休業や失業状態などになり、収入が減少して生活資金にお悩みの方に対し、緊急かつ一時的な生計維持のための生活費として特例緊急小口資金、またその収入減少が長期にわたることで日常生活の維持が困難な方に、生活の立て直しまでの一定期間(3か月)の生活費として特例総合支援資金の貸付を行いました。

① 特例緊急小口資金

新型コロナウイルス感染症による経済への影響による休業等を理由に、一時的な資金が必要な方への緊急小口資金貸付を実施。

件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談	126	75	46	38	71	27	21	15	11	35	53	72	590
申請	38	64	32	24	28	15	10	1	1	4	10	22	249
承認	25	60	41	26	12	27	10	3	1	1	7	8	221
金額	250	930	700	520	220	520	200	60	20	20	140	160	3,740

(金額：万円)

② 特例総合支援資金

失業や収入減少が長期にわたり生活に困窮された方には、生活の立て直しのための安定的な緊急総合支援資金貸付を実施。

件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談	1	23	37	58	76	67	37	27	24	32	31	29	442
申請	0	13	17	12	19	24	10	4	4	2	6	11	122
承認	0	12	16	8	12	13	6	2	0	1	0	2	72
金額	0	690	855	465	705	720	330	100	0	45	0	120	4,030

(金額：万円)

③ 特例総合支援資金（延長）

特例貸付については、これまで、3回（6月・9月・12月）受付期間の延長貸付を実施。

件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
申請				2	8	18	5	4	2	2	0	0	41
承認				0	3	5	9	3	2	1	1	1	25
金額				0	180	240	435	150	105	60	60	45	1,275

*相談件数は②に含む。

(金額：万円)

④ 特例総合支援資金（再貸付）

緊急小口資金及び総合支援資金の貸付が終了した方に対し再貸付を実施。

件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談											48	55	103
申請											48	30	78
承認											6	13	19
金額											0	735	735

(金額：万円)

Ⅱ 【在宅福祉サービス拠点】【老人福祉センター「ふれあい」拠点】

(介護支援課)

令和2年度は、「コロナ禍での事業継続」のために、「サービス提供のあり方」と「働き方」について情勢をみながら柔軟に判断・対応していくことが求められる期間でありました。「どれだけ対策を講じてゼロリスクにはならない」ということと「重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患を持っている方に対応していること」・「クラスターの発生しやすい業務」であることから、職員自身も常に緊張感を持ち「感染しない・持ち込まない・感染させない」ことを強く意識し、業務上だけでなく日常生活での行動制約等も含め、職員及び職員家族の協力も得ながら、事業継続に努めました。

重点目標別実績

重点目標 1

「中重度ケア+自立支援介護・重度化防止ケア」の推進

●感染予防・拡大防止対策の徹底と環境整備を図り、下記のとおり事業を推進しました。

(1) 老人デイサービス事業

【年間実績：介護給付（要介護1～5）＋総合事業（要支援1～2）】

	今年度	昨年度	比較増減
開設日	308日	310日	▲2.0日
実利用者数（総計）	750人	733人	17.0人
延利用者数（総計）	6,359人	6,417人	▲58.0人
（日平均）	20.6人	20.7人	▲0.1人

・コロナ禍での利用控えや5日間の営業自粛とともに、既存利用者の入院、退院後の在宅復帰率の低下もあり延利用者数の増加にはいたりませんでした。

・中重度（要介護3以上者）体制加算の要件である30%以上を大きく上回る55.2%となっていますが、反面、入院やショートステイ利用となる可能性も高く、利用者の状況変化に影響を受けやすい傾向となっています。

・中重度者を受け入れるに当たり特別食（ムース食等）の提供を図るなど多様な要請に応えるため、給食提供方法を変更しました。

・特別食を必要とする利用者世帯の介護負担の軽減を目的に、特別食の持ち帰りサービス（保険外サービス）の検討を行い、10月より実施しました。

・利用者の在宅生活の維持を目的に軽中度のリハビリニーズ者の確保のため、昨年度より個別機能訓練加算を算定しており、機能訓練目的の利用者も徐々に増加傾向にあります。

・コロナ禍においても利用者個々の状態に合わせた機能訓練を実施するため、リモートによる他機関リハビリ専門職との会議等を行い、質の担保を図りました。

●実績内訳

【介護給付（要介護1～5）の方へのサービス提供実績】

	今年度	昨年度	比較増減
実利用者数（年）	671人	694人	▲23.0人
（月平均）	55.9人	57.8人	▲1.9人

延利用者数（年）	5, 877人	6, 219人	▲342.0人
（月平均）	489.8人	518.3人	▲28.5人
（日平均）	19.1人	20.1人	▲1.0人
要介護3以上割合	55.2%	54.0%	1.2%
平均介護度	2.72	2.79	▲0.07
入浴介助加算	5, 324人	6, 045人	▲721.0人
	90.6%	97.2%	▲6.6%
個別機能訓練Ⅰ加算	2, 739人	1, 200人	1, 539.0人
	29.6%	19.3%	10.3%
個別機能訓練Ⅱ加算	184人	220人	▲36.0人
	3.1%	3.5%	▲0.4%

※昨年度と比較して、日平均利用者数がほぼ変わらないが延利用者数が減数しているのは、営業日2日減と新型コロナウイルス感染症による利用自粛日が5日あったためです。

【総合事業（要支援1～2）の方へのサービス提供実績】（305日）

	今年度	昨年度	比較増減
実利用者数（年）	79人	39人	40.0人
（月平均）	6.6人	3.3人	3.3人
延利用者数（年）	482人	198人	284.0人
（月平均）	40.2人	16.5人	23.7人
（日平均）	1.6人	0.64人	0.96人
運動器機能向上加算	70人	79人	▲9.0人

【理学療法士との連携】

	今年度	昨年度	比較増減
生活機能向上連携加算	447人	210人	237人

（2）居宅介護支援事業

【年間実績：介護給付（要介護1～5）＋総合事業（要支援1～2）】

	今年度	昨年度	比較増減
要介護（1～5）	2, 129件	2, 028件	101件
要支援（1～2）	117件	136件	▲19件
計	2, 246件	2, 164件	82件
月当たり	187.2件	180.3件	6.9件
ケアマネ一人当たり	31.2件	30.0件	1.2件

・コロナ禍ではあったが、関係機関（包括・まち保・市立病院、入所施設等）との関係性の構築により、重度者や困難ケース等の新規依頼を積極的に受け対応しました。

- ・要介護３以上割合４０％以上の継続による特定事業所加算Ⅰの算定を維持しました。
- ・新型コロナウイルス感染症関係の厚生労働省からの各種通知に則り既存ケースへの柔軟な対応を図りました。

●実績内訳

【介護給付（要介護１～５）の方へのサービス提供実績】

	今年度	昨年度	比較増減
年間実績（延べ）	2, 129件	2, 028件	101件
（月平均）	177.4件	169.0件	8.4件
要介護３以上割合	43.4%	41.6%	1.8%
特定事業所加算Ⅰ	12/12か月	10/12か月	2月
特定事業所加算Ⅱ	0/12か月	2/12か月	▲2月
平均介護度	2.44	2.41	0.03

【介護予防・総合事業（要支援１～２）の方へのサービス提供実績】

	今年度	昨年度	比較増減
年間実績（延べ）	117件	136件	▲19件
（月平均）	9.8件	11件	▲1.2件

【病院・老人保健施設との連携】

	今年度	昨年度	比較増減
入院時連携加算	35件	58件	▲23件
退院退所加算	25件	29件	▲4件
計	60件	87件	▲27件

【ケアマネジャー一人当たりの担当ケース数】

	今年度	昨年度	比較増減
介護給付（月当たり）	29.6件	28.2件	1.4件
介護予防（月当たり）	1.6件	1.8件	▲0.2件
計	31.2件	30.0件	1.2件

【休日・時間外対応状況】

	今年度	昨年度	比較増減
通常（８：３０～１７：３０）	167件	203件	▲36件
早朝（６：００～８：３０）	16件	62件	▲46件
夜間（１７：３０～２２：００）	108件	84件	24件
深夜（２２：００～６：００）	4件	8件	▲4件
計	295件	357件	▲62件

(3) 老人福祉センター事業

【全体利用者数】

	今年度	昨年度	比較増減
年間延べ利用者数	10,575人	15,928人	▲5,353人
(月平均)	881人	1,327人	▲446人
開館日数	246日	272日	▲26日
検温・健康チェック	10,575人	0人	10,575人
浴室利用者数	7,205人	9,298人	▲2,093人
カラオケ利用者数	0人	2,279人	▲2,279人
福祉バス利用者数	3,541人	6,962人	▲3,421人

※全利用者に対して、検温・体調チェックシート記入による健康状態の確認と相談を実施し、感染予防対策の徹底に努めました。

※浴室・脱衣場を中心とした館内見守りを実施（30分毎）しました。

※カラオケルームについては三密対策が困難であるため今年度については使用禁止としました。

※8月からのサークル活動及び介護予防事業再開に当たっては、名張「市民活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのガイドライン」を遵守し実施環境と運用ルールを整備し、利用者にも理解と協力をえながら、感染予防の徹底に努めました。

[段階的实施]

	指定管理	介護予防	共通
4月	—	—	休館
5月	—	—	休館
6月	浴室のみ実施	—	・10時～15時 ・福祉バス運休
7月	教養娯楽室、マッサージチェア、ヘルストロン利用再開	—	・9時30分～16時 ・福祉バス再開
8月	サークル活動再開 (カラオケルーム使用不可)	マシン教室再開 スクエアステップ教室再開	・9時30分～16時
9月	マーじゃん、囲碁将棋再開		・9時30分～16時
10月～	・カラオケルームは引き続き使用禁止 ・カラオケ大会、芸能大会は中止 ・地域活動支援は中止 ・湯茶の提供の中止 ・新聞・雑誌の中止	随時実施	・9時30分～16時

【生きがい活動支援通所事業】

(イベント関係実績)

	今年度	昨年度	比較増減
生活相談	随時	随時	—
替り風呂の日	1, 537人/48日	2, 107人/66日	▲570人/▲18日
ビリヤード大会	15人/1回	41人/3回	▲26人/▲2回
七夕カラオケ大会	0組	61組	▲61組
新春カラオケ大会	0組	60組	▲60組
計	15名	162名	▲142名

(地域活動支援実績)

	今年度	昨年度	比較増減
名張地区高齢者の集い	0人	45人	▲45人
名張地区カラオケ大会	0人	59人	▲59人
計	0人	104人	▲104人

(自主サークル活動)

	今年度	昨年度	比較増減
カラオケ教室	182人/15日	558人/21日	▲376人/▲6日
いきいき書道クラブ	63人/7日	93人/11日	▲30人/▲4日
レクリエーションサークル	33人/5日	61人/10日	▲28人/▲5日
ながつき友の会	25人/6日	71人/9日	▲46人/▲3日
計	303人/33日	783人/51日	▲480人/▲18日

(老朽化施設への対応)

主な修繕箇所	・フロア天井電灯 LED 交換 ・茶室空調修理 ・もみじの湯換気扇	・教養娯楽室天井固定 ・男子トイレ便座交換
--------	---	--

【介護予防事業】

新型コロナウイルス感染症の影響により、8月からの実施となりましたが、感染予防対策を徹底し、運動器機能の維持・向上に向けた教室を主体に実施しました。

	今年度	昨年度	比較増減
健康相談	健康チェックシートにより在時対応	755人	—
一般マシントレーニング教室	1, 911人/140日	3, 125人/194日	▲1, 214人/▲54日
スクエアステップ教室	392人/31日	808人/44日	▲416人/▲13日

歯科衛生士による「歯科相談」	0 人	1 5 0 人/4 日	▲ 1 5 0 人/4 日
ヘルスアップ教室	5 0 人/5 日	0 人	5 0 人/5 日
脳トレリーフレット	4 0 1 シート配布	—	—
介護予防リーフレット	2 0 シート配布	—	—
計	2, 3 5 3 人 / 1 7 6 日	4, 0 8 3 人 / 2 4 2 日	▲ 1, 7 3 0 人 / 6 6 日

※「計」及び「比較」について、「健康相談」を除く

重点目標 2	健全経営体制の基盤整備
●経営・運営管理 (1) 各種会議による経営・運営管理	
運営管理会議の開催	課長・係長・管理者による毎月定例開催（12回/年） 【基本的検討項目】 ・業務実績と運営課題の確認 ・職員管理上の課題の確認 ・サービス提供上の課題の確認 ・事業計画、予算について ・前期経営分析と今期経営課題の確認 ・法人に対する調整事項について 【令和2年度検討項目】 ・新型コロナウイルス感染症対応について ・テレワークの推進について ・令和3年度介護報酬改定への対応について ・地域福祉課職員の受け入れについて ・デイサービスにおける保険外サービスについて
サービス向上検討委員会の開催	課長・係長・管理者・主任により毎月定例開催（12回/年） （特にサービス提供・質の担保について調整） ・サービスの標準化について ・利用者確保について ・課内協力体制について
管理者・主任会議の開催	課長・各事業管理者・主任による原則毎月定例開催 ・事業推進状況の詳細確認と課題整理・対応策の検討 ・事業所職員の状況についての確認 ・コロナ禍での事業課題の確認

		デイサービス	11回/年	
		居宅介護支援事業	12回/年	
		老人福祉センター	21回/年	
介護保険事業管理のための会議の開催	事業管理のための各種会議の開催			
	デイサービス	・介護員会議：12回/年 ・看護師会議：11回/年 ・機能訓練指導員会議：13回/年 ・生活機能向上連携会議：10回/年 ・給食のあり方検討会：3回/年 ・事業所全体会議：3回/年		
	居宅介護支援事業	・定例事業所会議：48回/年		

※令和2年度については、「コロナ禍における感染対策と経営の両立」について検討しながら、適正なサービス提供と令和3年度報酬改定への準備について調整しました。

●新型コロナウイルス感染症対応

(2) 介護支援課としての感染対策の推進

定例介護支援課 感染対策委員会 の開催	・感染状況の把握と想定課題の検討 ・職員の心身状況の確認 ・各種関連通知の確認 ・職員行動指針、ガイドラインの確認と運用検討 ・各種助成事業などの活用検討
臨時介護支援課 感染対策委員会 の開催	・感染状況による対応検討 ・市内・伊賀館内の感染状況による対応検討 ・利用者及び同居家族等の感染状況による対応検討 ・職員及び同居家族等の感染状況による対応検討
感染予防・拡大防 止に向けた取組 み	・介護支援課職員行動指針の作成 ・介護支援課感染拡大防止ガイドラインの作成 ・各事業所業務日誌の様式変更（出勤時の行動履歴・接触者の確認） ・介護支援課健康観察・行動記録表の作成（就業外の行動履歴と接触者確認） ・介護支援課新型コロナウイルス感染症ヒアリング（チェック）シート作成 ・介護支援課新型コロナウイルス感染症接触度評価表（簡易整理票）の作成 ・介護支援課職員体温・体調確認票の作成

※例年は4回/年開催の「定例感染対策委員会」をサービス向上検討委員会と同時開催し、毎月の感染状況と対応課題の確認・対策の徹底に努めました。

※管内の感染状況や法人内の状況にも随時対応するため、適宜臨時の感染対策委員会を開催し、感染予防と拡大防止及び発生時の対応想定を繰り返し行い、適応力の向上に努めました。

(3) 法人として一体的に取り組むべき課題の提案と対応要請を行いました。

	主な事項
法人としての対応 基盤の整備	・法人としての感染対策委員会設置要請 ・法人としての対応ガイドラインの作成 ・各課での対応格差の解消
職員が安心して働ける環境整備	・コロナ禍での働く介護事業従事職員の心身負担への理解と支援 ・ハイリスク職員への適正対応 ・コロナシフト運用への理解 ・就業制限と休業手当の支給要件の整理と説明 ・テレワーク実施に向けた法人としての検討体制整備について ・就業制限と休業手当の関係の整理について ・事業継続のためのコロナシフトの必要性について
コロナ禍での事業継続	・法人感染対策委員会の機動性向上と法人全体での一体的対応意識の醸成 ・テレワーク等の三密回避による業務遂行環境の整備 ・テレワークの適正実施に向けた各種運用ルール整備 ・生産性向上に向けた各種事務事業の省力化 ・事業継続計画（BCP）の策定必要性の理解と策定に向けた体制整備 ・事業継続及び緊急時に必要な備品・消耗品の確保と管理

※コロナ禍において、「利用者の安全・安心」「職員の安全・安心」を両立させながら事業継続していくこと及び現在の介護保険制度において当法人の事業規模で事業継続していくためには、法人全体として「経営課題」を共有し、課題解決に向けて法人として取り組むことが求められていることへの理解と協力が醸成されるように努めました。

●専門性の担保

(4) 各種研修会等への参加

感染対策関係	3	報酬改定関係	2
自立支援関係	3	個別機能訓練関係	4
口腔ケア関係	1	認知症関係	2
リスクマネジメント関係	2	身体拘束関係	1
レクリエーション関係	1	介護支援専門員更新研修	4

※新型コロナウイルス感染症の影響により計画していた多くの研修会が中止となりましたが、8月以降にあらためてオンライン研修等を主体に必要な研修機会の確保に努めました。

(5) 実習の受け入れ

居宅介護支援	三重県介護支援専門員実務研修 ・対象者：1名　・実習期間：3日間
老人福祉センター	名張市立看護専門学校 ・対象者18名　・実習期間：16日間

重点目標3

業務効率の向上と働きやすい環境づくり

(1) テレワークの試験的实施

リモート会議の実施	【法人内】 ・既存会議のリモート化（試験的实施） ・臨時開催（休日・時間外）が必要な場合での運用 ・就業制限中（自宅待機中）での運用 【法人外】 ・他機関との会議等での活用	
リモートサクセスツールの導入	介護保険業務	介護保険システムへのアクセス ・既存の介護ソフトへのリモートアクセスによる記録業務、情報共有 ・訪問先でのモバイルワーク及び24時間対応時（緊急対応時含む）の利用者情報へのアクセスによる対応力の向上（モバイルワーク環境の整備）
	管理業務 （バックオフィス業務）	各種法人システムへのアクセス環境の整備 ・勤怠管理システム ・会計システムへ ・社内ネットワーク
	その他リモートアクセスに関係なく対応可能業務の検討	
	日常的業務	・会議関連資料・報告書の作成 ・会議出席 ・目標管理等のシート作成 ・レク等の必要物品作成 ・その他

(2) コロナ禍での事業継続に向けた各種助成金

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業	感染症対策を徹底した上での介護サービス提供支援事業
	在宅サービス事業所における環境整備への助成事業
	介護サービス再開に向けた支援事業
	介護サービス事業所・施設に勤務する職員に対する慰労金の支給事業
三重県介護従事者確保事業費補助金	ICT 導入支援事業

(3) コロナ禍での職員管理

- ・時節ごとに職員への行動指針やメッセージ文書を課長・管理者名で発出し、健康管理と感染予防・拡大防止に向けた行動についての理解を促しました。
(職員家族に対しても、理解と協力をお願いする文書も発出しました。)
- ・感染不安や出勤判断等について、常時(365日24時間)職員からの相談を受け付け少しでも安心して出勤してもらえるよう対応しました。
- ・時節ごとの感染状況等を整理し説明する機会を設け、正しい理解と対応意識を醸成しました。

(4) 業務の効率化(生産性の向上)と事務事業の省力化に向けた取り組み

- ・新たな介護保険システムの運用による記録業務の簡素化
- ・デイサービスにおける介護助手の配置による専門職業業務効率の向上
- ・デイサービスにおける給食提供方法の見直しによる職員配置の見直しと給食に係る事務事業の省力化
- ・勤務シフト作成システムの見直しによる作成業務の省力化

(5) 地域福祉課休職職員の受入(デイサービス事業9月より)

- ・休職復帰職員に対して、対人援助職としての基本的視点等の習得支援を行いました。
- ・各課における育成基盤・人事考課制度等の見直し課題についても法人へ対応要請を行いました。

Ⅲ 【昭和保育園拠点】（昭和保育園）

1. 事業の概要

1. 保育目標

昭和保育園の めざす子ども像	心身ともに健康な子ども ～よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子ども～ ○体力のある子ども ○意欲のある子ども ○友だちと感じあえる子ども
-------------------	--

2. 保育実績

保育人数	0歳児 12名、1歳児 21名、2歳児 18名 3歳児 25名、4歳児 25名、5歳児 24名 合計 125名
土曜日保育	延べ 1,627名 平均 31名/週

3. 年間行事（園行事）

4月 4日(土)	はじまりのつどい	11月 9日(月)	親子遠足（5歳児）
5月 22日(金)	よもぎ摘み	12月 12日(土)	生活発表会
6月 9日(火)	交通安全教室	12月 21日(月)	冬のお楽しみ会
7月 7日(火)	七夕会	1月 4日(月)	新年のつどい
7月 20日(月)	水遊び開始	2月 2日(火)	春のつどい
7月 21日(火)	夏のお楽しみ会	3月 5日(金)	入園説明会
8月 1日(土)	お久しぶり 1年生	3月 10日(水)	交通安全教室
8月 6日(木)	へいわのつどい（親子）	3月 15日(月)	お別れ会
10月 3日(土)	運動会	3月 18日(木)	お別れ散歩
10月 19日(月)	芋ほり	3月 26日(金)	卒園式
10月 23日(金)	秋の遠足		

2. 適切な運営体制確立

1. 運営委員会の開催

保護者や地域に開かれた運営を推進するため、運営委員会を2回開催し、保育計画や保育内容についての協議を行いました。

開催日	内容
第1回 6月 13日(土)	・令和2年度保育計画について ・保育課程（年間計画・保健計画・食育計画） ・令和2年度事業計画について ・施設環境整備推進について
第2回 3月 6日(土)	・令和2年度運営状況報告について ・令和3年度計画について

2. 施設環境整備の推進

環境整備のため設置	・折りたたみ講演台 ・移動棚（4個） ・フォトプリンター	・折りたたみ式花台 ・加湿空気清浄機（4台） ・テプラ
-----------	------------------------------------	-----------------------------------

	・プロジェクター ・スクリーン ・担架 ・職員トイレ暖房便座 ・網戸（休憩室） ・乳児トイレ洋式便器	・プロジェクター台 ・カメラ付き収音マイク ・避難用ベビーカート ・看板 ・靴箱 ・乳児トイレ、沐浴室床面ドライ化
老朽化のため改修	・保育室、給食室空調機器取替 ・絵本室アコーデオンカーテン取替 ・ガス給湯器取替 ・給食室ロール網戸 ・給食室流し台水道バルブ ・トイレ換気扇取替（保育室横、職員用） ・玄関パネル掲示板	

3. 健康管理の推進

内科健診	4月16日(木)、11月12日(木)
尿検査	4月15日(水)
歯科健診	10月15日(木)
5歳児健診	6月26日(金)、11月16日(月)
身体計測	乳児（毎月）、幼児（隔月）
視力検査	11月5日(木) 5歳児、2月12日(金) 4歳児

①職員の健康診断

②給食・調乳に係る職員の検便（毎月2回）

③防虫対策（可動式除菌・害虫駆除器クッカノンスーパー設置）

4. 防災計画実施と交通安全指導の推進

年間計画を立て、毎月1回避難訓練を実施しました。また、保護者代表の幼児交通安全クラブ員3名がリーダーとなり、交通安全教室を開催しました。

①避難訓練実施

4月	話を聞く（火災・地震）	10月	不審者侵入
5月	火災（給食室より出火）	11月	火災（湯沸かし室より出火）
6月	地震想定	12月	火災（乳児室より出火）
7月	長時間保育時の火災	1月	地震
8月	風水害	2月	近隣住宅の火災
9月	地震	3月	総合訓練

②交通安全教室（指導）実施

6月11日(木)・3月4日(木)	交通安全教室実施
------------------	----------

5. 保護者との連携

毎月園だより、クラスだよりを発行し保育内容の共有、保育理解につなげました。

子育て相談や、就学前相談・個人懇談を実施し保護者との連携を図りました。

また、ドキメンテーションを活用し保育を見える化し、子どもの育ちを共感できるよう努めました。

6. 地域との交流の推進

- ①藤堂家邸の花見
- ②城下川の花筏見物
- ③寿栄神社境内散歩（随時）
- ④宇流富志禰神社茅野輪くぐり
- ⑤名張地区まちづくり推進協議会さんとの交流
 - ・竹行灯づくり
 - ・エコロード散策
- ⑥愛宕神社おみこし見物
- ⑦やなせ宿ひな人形見物

7. 幼児の体力の向上

季節や子どもの興味に合わせて園庭のアスレチック遊具の配置を替え、自ら体を動かして遊ぶ環境を整えました。また、幼児クラスは週1回パワフルデーとして、鉄棒や縄跳びや跳び箱などの体育遊具で遊ぶ時間を定期的につくることで、楽しみながら運動発達を向上させることに繋がりました。

8. 読書活動の推進

子どもの興味や発達に応じた絵本を購入し、お話を月一回開催しました。

また、絵本の紹介や子どもの読書の様子を伝える「絵本の扉」を発行し、保護者への読書啓発に繋がりました。

9. ふれあい活動・高齢者との交流（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

- ①小、中、高校生とのふれあい活動
- ②職場体験（名張中、赤目中、南中）
- ③デイサービスの利用者の方と月2回の交流。

10. 職員の資質向上の推進

年間計画を立て、園内研修を進め園外研修にも積極的に参加しました。また、保育士の技能・経験に応じ専門リーダー（乳児・幼児・発達支援・子育て・食育・図書・保健・アレルギー・栄養管理）となりキャリアアップに繋がりました。

①研修内容

園内研修	・人権保育 ・障害児保育 ・公開保育 ・乳児保育 ・幼児保育
園外研修	・な同会（なばりの同和保育を考える会） ・絵本 ・障害児保育 ・乳児保育 ・幼児保育 ・発達支援 ・食育 ・保健 ・公開保育 ・わらべうた ・保育実践 ・地域子育て ・保護者支援

②実習生の受入

実習目的	人数	学校名
保育実習	5名	関西女子短期大学 大谷大学 四天王寺短期大学
小児看護	4名	名張市立看護専門学校

3. 特別保育事業

1. 低年齢保育事業の推進

生後6か月より受け入れ、0歳児～2歳児まで51名の子どもを保育しました。年齢の発達に応じ、年間・月別に保育計画を持ち、一人ひとりの子どもの個別計画や個人記録をとり、保護者支援（育児相談やアドバイス、看護師による健康相談）を行いました。

2. 延長保育事業の推進

①延長保育の利用実績（平日18:15～19:15）

4月	51名	8月	34名	12月	30名
5月	39名	9月	33名	1月	63名
6月	53名	10月	38名	2月	58名
7月	45名	11月	31名	3月	58名

一か月平均 44名 年間延べ利用人数 533名

②スポット保育の利用実績

延長保育の登録園児以外にも朝、夕の突発的な標準時間保育・延長保育に対応しました。

3. 個別乳幼児特別支援事業の推進

個別支援計画を立て、発達支援センター等関係機関と4歳児2名障害児保育を行いました。5歳児健診、定期巡回訪問、就学前教育相談を行い、途切れのない発達支援を行いました。

4. 異年齢交流の推進

毎週火曜日のにこにこデーを開催し、3. 4. 5歳児で、体操やふれあい遊びを行いました。

5. 一時預かり保育事業の推進

保護者の就労や疾病、育児に伴う心理的・肉体的負担の解消など私的な理由やその他の事由により保育を必要とする児童を、延べ364名預かりました。

	利 用 児 童 数						
	半日			一日			計
	① 勤務 形態等	② 緊急 一時的	③ 私的 理由等	① 勤務 形態等	② 緊急 形態等	③ 私的 理由等	
合計	1	2	4	1 8 1	1 3	1 6 3	3 6 4

6. 家庭支援保育の推進

保護者の気持ちに寄り添い、子育て相談に応じるなど家庭推進保育士を中心に保護者支援を行いました。

4. マイ保育ステーションの取組み（地域の子育て支援事業の推進）

育児体験や育児相談、一時預かりサービス利用を通して、妊娠期から途切れのない地域の子育て支援の拠点として事業に取り組みました。コロナ禍において、関係機関と連携を図り感染拡大防止対策を取りながら、親子が安心して過ごせる遊び場を提供しました。

1. マイ保育ステーションの実績

項目	人数	内容
新規登録	1 1 9 名	未就園児、妊婦の登録者
利用人数	延べ1, 6 2 2 名	0歳児とその親の利用が全体の半数を占め、全て3歳未満児。妊婦は延べ4 0 名利用。
一時預かり無料体験	4 7 名	年1回、午前もしくは午後の半日無料で一時預かり保育を実施

2. 毎月の行事内容

行事	内容
わらべうた	第1木曜：わらべうた・ふれあい遊び
バルーンアート	第2木曜：風船で楽しい事をします
折り紙で遊ぼう	第3木曜：親子で折り紙遊び
ミッチーと遊ぼう	各月第4木曜：パネルシアター・絵本・わらべうた
ステーションで遊ぼう	制作遊びやパワールームで遊びます
絵本大好き	ステーションのスタッフによる絵本のお話会
誕生日会	誕生日会をします
その他	園庭開放・避難訓練

Ⅳ 【総合福祉センターふれあい拠点】（総務課）

1. 総合福祉センター指定管理事業

1. 施設の維持管理

①施設、設備の保守点検・修繕等による安全管理の徹底

ア. 施設の管理状況

総合福祉センターの指定管理者の指定を受け、福祉関係団体や市民のみなさまが安心、安全に集う場として活用されるよう、施設及び設備の保守点検・修繕等を実施しました。

大規模改修としては、名張市において吊り天井の改修を実施しました。

また、総合福祉センターふれあいは、築25年が経過し、施設、設備の老朽化が顕著となっていることから、設備更新や大規模修繕を確実に実施していくため、非常用発電機設備、受変電設備等の改修に向けて名張市へ要請を行いました。

主 な 管 理 項 目	費 用
警備業務委託	554,400円
自家用電気工作物保安管理業務委託	461,340円
昇降機保守点検業務委託	927,300円
駐車場管制装置保守点検業務委託	346,500円
構内交換電話設備保守業務委託	155,760円
清掃業務委託	2,524,104円
設備保守管理業務委託	8,944,650円
運営管理にかかる休日及び時間外業務委託	1,333,389円
敷地内高木伐採作業委託	266,400円
室内照明LED更新委託	858,000円
排気ファン取替作業委託	517,000円
その他	471,434円
管理に要した費用合計	17,360,277円

イ. 施設の修繕状況

危険度や重要度を考慮し、名張市と協議しながら、順次、修繕を行いました。

主な修繕箇所	1階防火扉修繕、貯水タンク用給湯2次ポンプ取替修繕、東玄関避難口誘導灯器具取替修繕、GHP101系統室外機修繕、中央監視装置バッテリー取替修繕、館内トイレ便器交換修繕、正面玄関外灯・駐輪場等看板塗装 等
修繕に要した費用	1,996,610円

②施設利用状況

吊り天井の改修及び新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ふれあいホール及び会議室の貸館を止めたことに伴い、利用件数及び利用料が減少しました。

ア. 貸館休止状況

ふれあいホール	休止期間：令和2年4月～令和3年1月（10か月）
会議室	休止期間：令和2年4月～5月（2か月）

イ. 会議室・ホール利用件数： 1, 409件 (前年比446件減)

ウ. 利用料・参加費収入

内 訳	金 額
会議室・ホール	390,270円
駐車場	82,650円
コピー・印刷代	144,242円
卓球台	27,500円
合 計	644,662円

③環境美化活動の計画的実施による施設周辺の管理

ア. 総合福祉センター内各事業所職員による美化活動

年間を通じて施設周辺の除草作業や周辺歩道等の落葉掃きを行いました。

2. 施設利用者の意見反映

利用者の意見は、センター内に設置した「ご意見箱」や窓口対応により把握し、施設サービスや職員資質の向上につなげるように努めました。

3. 防災対策

本年度は新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止対策のため上半期の消防、防災訓練及び防火管理委員会の開催を中止しました。

①防火管理委員会の開催

第1回	1月21日(木)
-----	----------

②消防計画に基づく消防、防災訓練の実施

総合福祉センター内での火災発生を想定し、各事業所職員を対象とした消防、防災訓練を実施しました。

実施日時	2月16日(火)13:30~14:30
訓練内容	コロナ禍における実施のため、従来の大規模地震等を想定した訓練ではなく、名張市総合福祉センター内での火災発生を想定し、センター内職員に避難、誘導等の諸活動を習熟させる目的で実施しました。 ・通報・連絡訓練 ・初期消火訓練
参加者	社協、名張連絡所、名張市シルバー人材センター、ハローワークプラザ名張、家庭児童相談室

